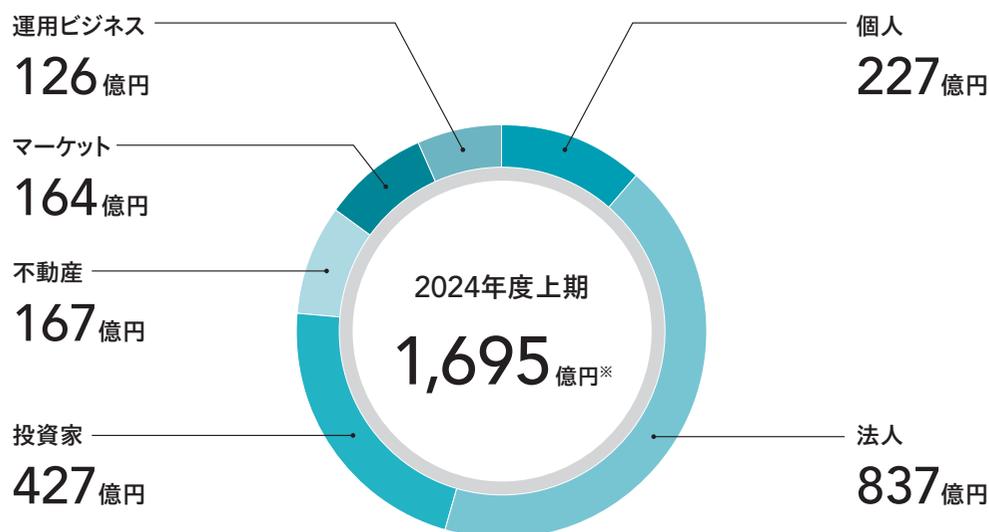


ビジネス概況

セグメント別実質業務純益



※ 各セグメントの実質業務純益合計に加え、報告セグメントに区分されない経営管理本部のコストなどの金額を含む

	2023年度 中間期実質業務 純益 ^{※1} (億円)	2024年度			2024年度 中間期実質業務 純益 ^{※1}	増減	2024年度 実質業務純益 通期予想 ^{※1}
		実質業務 粗利益 ^{※1}	増減	総経費			
総合計	1,663	4,508	224	△2,812	1,695	32	3,400
個人	209	1,125	74	△897	227	18	400
三井住友信託銀行	106	756	63	△629	126	20	220
その他グループ会社	102	368	11	△268	100	△2	180
法人	735	1,390	149	△553	837	101	1,520
三井住友信託銀行	585	949	118	△276	672	87	1,190
その他グループ会社	150	441	30	△276	164	14	330
投資家	299	847	169	△420	427	128	640
三井住友信託銀行 ^{※2}	196	490	111	△192	298	101	470
その他グループ会社 ^{※2}	102	357	57	△227	129	26	170
不動産	131	325	48	△157	167	36	390
三井住友信託銀行	89	174	29	△57	117	27	310
その他グループ会社	41	151	18	△100	50	8	80
マーケット	347	265	△171	△101	164	△182	550
運用ビジネス ^{※3}	97	487	53	△360	126	29	250

※1 各セグメントの「実質業務粗利益」および「実質業務純益」には、関連する臨時損益（「株式等関係損益」、「株式関連派生商品損益」等）の一部を便宜的に含めており、「総合計」において調整

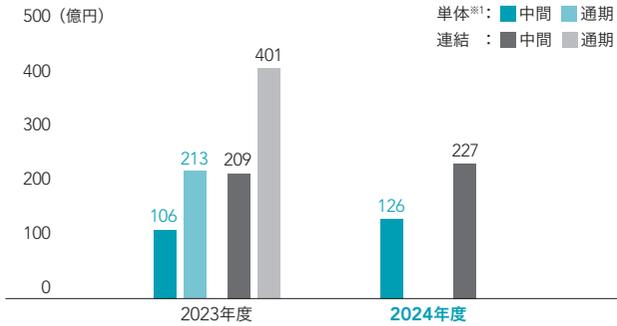
※2 2023年度第4四半期より収益管理方法を見直し

※3 資産運用会社（三井住友トラスト・アセットマネジメント（連結）、日興アセットマネジメント（連結）、スカイオーシャン・アセットマネジメント、JP投信）の合計

個人

アドバイザリ機能を磨き上げ、当グループならではの強みを最大限に発揮

■ 実質業務純益の推移



円金利上昇に伴う受信収益の増加に加え、投資運用コンサルティング関連の収益も堅調に拡大していることから、実質業務純益は三井住友信託銀行(単体)では前年同期比20億円増益の126億円、連結では同18億円増益の227億円となりました。

主要子会社・関連会社

- 三井住友信託銀行
- 三井住友トラストクラブ
- 三井住友トラスト・ウェルスパートナーズ
- 三井住友トラスト・ライフパートナーズ
- UBS SuMi TRUST ウェルス・マネジメント

法人

企業との総合取引展開や金融仲介機能の発揮によるスケーリング

■ 実質業務純益の推移



円金利上昇に伴う金利収益の増加に加え、管理株主数の増加を主因とした証券代行手数料の拡大も寄与し、実質業務純益は三井住友信託銀行(単体)では前年同期比87億円増益の672億円、連結では同101億円増益の837億円となりました。

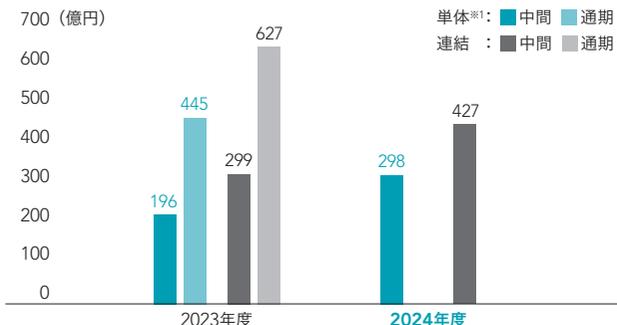
主要子会社・関連会社

- 三井住友信託銀行
- 三井住友トラスト・パナソニックファイナンス
- 三井住友トラスト・ローン&ファイナンス
- 東京証券代行
- 日本証券代行
- 三井住友トラスト・TAソリューション
- 日本株主データサービス
- 泰国三井住友信託銀行
- 紫金信託

投資家

利のある投資機会の提供、投資家裾野拡大等を通じたAUF^{※2}の拡大

■ 実質業務純益の推移



資産運用業務・年金業務・資産管理業務それぞれが堅調に推移したことに加え、大口案件による組合出資関連損益の増加もあったことから、実質業務純益は三井住友信託銀行(単体)では前年同期比101億円増益の298億円、連結では同128億円増益の427億円となりました。

主要子会社・関連会社

- 三井住友信託銀行
- 日本カストディ銀行
- 米国三井住友信託銀行
- 三井住友トラスト・アイルランド
- 日本ペンション・オペレーション・サービス

不動産

高い業務品質や専門力を土台とし自己勘定も使って市場と自らの成長を両立

■ 実質業務純益の推移



市況改善による取引件数の増加により法人向け仲介が好調に推移したことに加え、個人向け仲介も好調を維持していることから、実質業務純益は三井住友信託銀行（単体）では前年同期比27億円増益の117億円、連結では同36億円増益の167億円となりました。

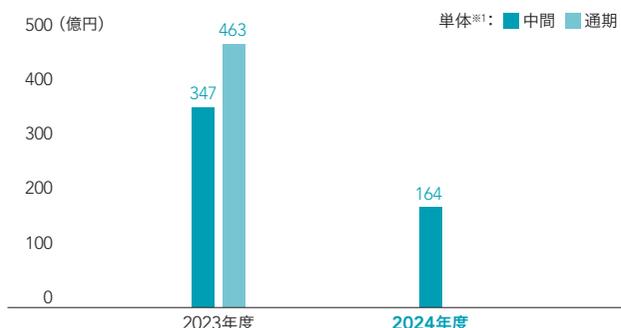
主要子会社・関連会社

- 三井住友信託銀行
- 三井住友トラスト基礎研究所
- 三井住友トラスト不動産

マーケット

投資を軸とした収益力強化とDX推進による業務プロセス変革に注力

■ 実質業務純益の推移



顧客業務及びALM業務は順調に推移した一方、投資業務における進捗が不芳であったことを主因に、実質業務純益は前年同期比182億円減益の164億円となりました。

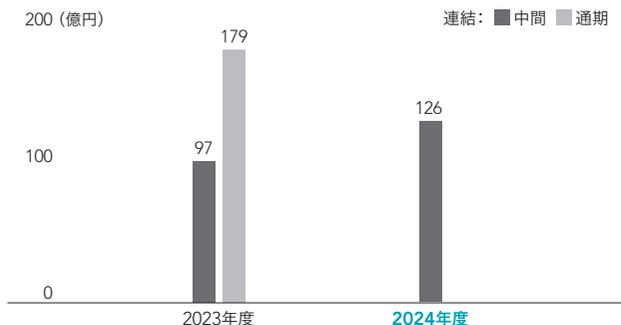
主要子会社・関連会社

- 三井住友信託銀行

運用ビジネス

資本も活用し、AUM^{※3}の拡大と投資家にとって利のある領域に注力

■ 実質業務純益の推移



当中間連結会計期間の資産運用残高が堅調に推移したことを主因に、手数料収益が拡大したこと等により、実質業務純益は前年同期比29億円増益の126億円となりました。

主要子会社・関連会社

- 三井住友トラスト・アセットマネジメント
- スカイオーシャン・アセットマネジメント
- 日興アセットマネジメント
- JP投信

※1 三井住友信託銀行（単体） ※2 Assets Under Fiduciary ※3 Assets Under Management